

1. 冬休み親子歴史体験の開催

冬休みの季節にちなんだ歴史体験として「凧を作って、凧揚げに挑戦！」を予定しています。

- 実施日 12月23日(火・祝日)
- 時間 10時、14時(各約2時間)
- 内容 和凧作りと凧揚げ
- 定員 各50人(先着順)
- 材料費 200円(持参物は申込み時に連絡)
- 申込み 電話で事前申込みが必要
12月16日(火)から受付



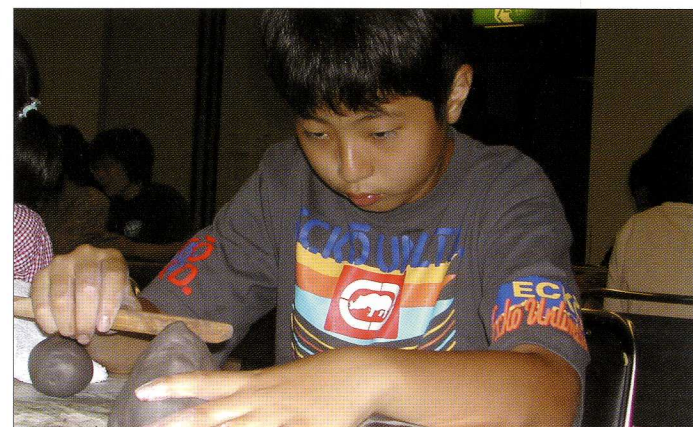
凧・たこ揚げ! 和凧づくり

2. 子ども歴史教室(II期)の開催

冬休みを中心に歴史資料館で縄文人の生活体験をしてみませんか! II期は、「縄文土器作りと土器の野焼き体験」に挑戦します。

	開催日	活動内容
1	12/20(土) 9:30~11:30	縄文土器について・粘土こね
2	12/25(木) 10:00~15:00	土器作り(1)
3	1/6(火) 10:00~15:00	土器作り(2)
4	1/17(土) 10:00~15:00	土器の野焼き体験

- 材料費 300円
- 対象と定員 小学校5年生~中学生 30人(先着順)
- 申込み 電話で事前申込みが必要



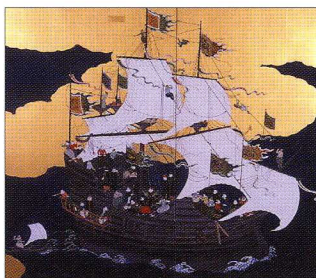
縄文人の技に挑戦! 土器づくり

常設特集展示

「大友宗麟 海外に開かれた時代」

会期 平成16年3月31日(水)まで

大友氏は、元弘3年(1333)建武政権によって博多息浜を恩賞の地として与えられました。以来、同地を拠点にしながら、対朝鮮、対中国交易に関わりをもちました。21代宗麟の時代には、さらに南海に目をむけ、南蛮貿易を積極的に進めました。本展示では、広く海外との交流をもった宗麟の時代を、中世府内町跡の出土品や西洋の出版物・屏風絵などから紹介します。



日本に向う南蛮船
南蛮屏風(模写) 原本 神戸市立博物館蔵より

利用案内

- 会館時間 9時から17時(入館は16時30分まで)
- 休館日 毎週月曜日(祝日の場合は開館)
祝日の翌日(土・日曜の場合は開館)
年末年始(12月28日~1月5日)
- 観覧料 大人200円(団体150円) 高校生100円(団体50円)
※団体は20名以上、小中学生は無料
※特別展開催中は別料金となります場合があります。

■住所 〒870-0864 大分市大字国分960-1 TEL097-549-0880



- 交通機関
JR久大本線
※豊後国分駅下車
大分バス
○国分新町、向原、今畑、中村、竜原ゆき(全て賀来経由)
※歴史資料館前下車

インフォメーション Information

親子歴史体験講座

- 実施日 平成16年1月24日(土) 第9回 粘土はにわ作り 1ヶ210円
2月28日(土) 第10回 勾玉作り 1ヶ200円
- 時間 10時、14時
- 申し込み 電話予約

ミュージアム・シアター

- 実施日 12月21日(日) ザビエルが歩んだ九州・山口ロマン紀行
平成16年1月25日(日) 木簡がかたる古代社会
2月22日(日) 浮世絵にみる町人の暮らし/風俗画

■時間 13時30分

■費用 無料 申し込み 不要

※各回とも「ミュージアム・シアター」に引き続いて、テーマ展示を解説する「ギャラリー・トーク」(14時30分/要観覧料)を開催いたします。

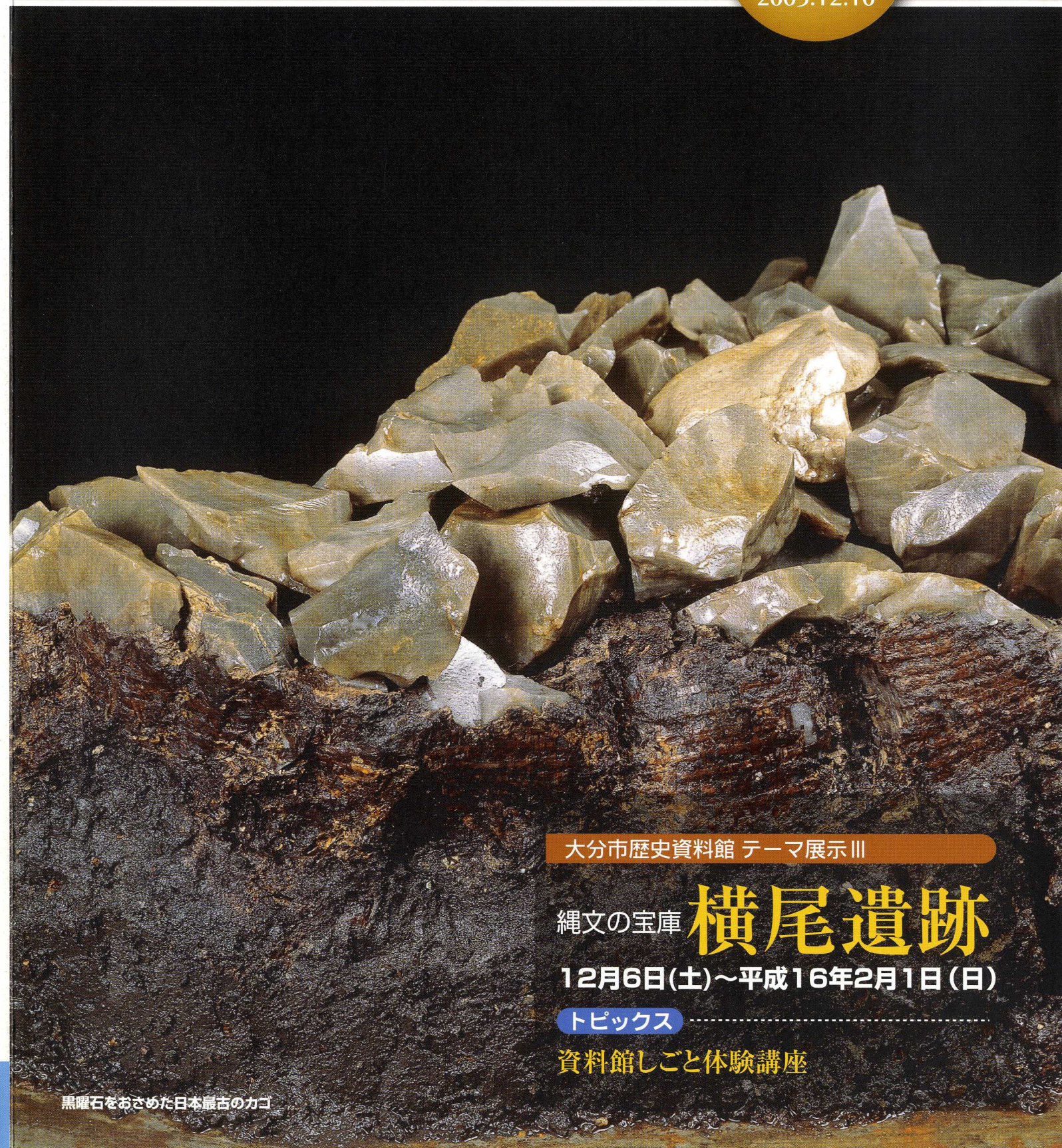
ふるさとの歴史再発見講座 古文書のコース

- 実施日 1月~3月 第1・2土曜日 ※1月は第2・3土曜日
- 時間 14時(全6回)
- 費用 無料
- 申し込み 往復ハガキに住所、氏名、電話番号、参加希望の旨を記入し、12月20日までに当館にご郵送ください。

大分市歴史資料館

OITA CITY HISTORICAL MUSEUM

ニュース



大分市歴史資料館 テーマ展示Ⅲ

縄文の宝庫 横尾遺跡

12月6日(土)~平成16年2月1日(日)

トピックス

資料館しごと体験講座

黒曜石をおさめた日本最古のカゴ

発行日:平成15年12月10日

発行:大分市歴史資料館 〒870-0864 大分市大字国分960-1 TEL097-549-0880

※ホームページ <http://www.city.oita.oita.jp/> (大分市ホームページ)の「施設ガイド」も併せてご覧下さい。

縄文の宝庫 横尾遺跡

会期：平成15年12月6日（土）～平成16年2月1日（日）

横尾遺跡は乙津川の河口近くの左岸に広がる日本を代表する縄文時代の遺跡です。昭和40年に横尾貝塚が発掘調査されてから今日に至るまでの調査によって、およそ6300年前～4000年前の縄文時代早期～後期の縄文人の生活を物語る膨大な量の土器や石器、ドングリの貯蔵穴、水場の遺構などが次々と発見されました。なかでも、ガラス質の石で石器に使われた姫島産の黒曜石がカゴにおさめられた状態で出土し、当時の交易の広がりを示すとともにカゴ自体が日本最古のものとして注目を浴びました。ほかにも水が湧く谷から日本最古と考えられる約6300年前の建築部材が出土しました。最近では巨大な姫島産黒曜石の原石が発見されるなど、横尾遺跡の発掘調査は次々と私たちに驚きを与えています。

本展示ではこうした縄文の遺跡として近年全国から注目を浴びている横尾遺跡の出土品を紹介し、様々な展示物から横尾遺跡で暮らした縄文人の生活の様子を想像していただけましたら幸いです。



いしざら ずりいし
石皿・磨石



姫島産黒曜石の大形原石

縄文時代後期の土器



縄文時代前期の土器

コーナー紹介／主な展示品

縄文の交易と技

遙かな昔、縄文時代の人々は用途に応じて多種多様な道具を使っていました。道具の素材には身近にある木・石・土・獣の骨などが用いられました。横尾遺跡でも姫島産の黒曜石をおさめた日本最古のカゴをはじめ、石鎌や石斧などの石器や文様のはっきり残っている縄文土器など、縄文人の手によって作られた様々な道具が見つかります。特に姫島で産出した、巨大な黒曜石の原石やカゴにおさめられた黒曜石は、国東半島沿岸部の中継地から舟で大野川河口を経て横尾遺跡に運ばれたものと考えられ、黒曜石の運搬がどのように行なわれていたかを示す貴重な資料です。

黒曜石の原石・石核、黒曜石をおさめた日本最古のカゴ石器（石鎌・石斧・石錘など）、縄文土器

縄文の食卓

旧石器時代にくらべ気候が温暖になり、四季の変化がはっきりするようになった縄文時代では、ナウマン象やオオツノジカなどの大型獣がいなくなり、イノシシやシカなどの中型の哺乳動物や、魚介類、ドングリやゼンマイなど季節の変化に応じた旬の植物を食べるようになりました。横尾遺跡からも当時の人々の食生活を物語る多くの遺物が見つかります。

ドングリ、石皿・磨石、ハマグリ・シジミの貝殻、釣り針、貝塚の土層

関連行事

Event

ギャラリー・トーク

- 内容** 展示室でテーマ展示の出土品を解説します。
- 日時** 平成15年12月21日（日）・平成16年1月25日（日）
14時30分から約45分間
- 場所** 資料館 テーマ展示室
- 講師** 資料館職員
- 参加費** 入館料

トピックス

Topics

資料館しごと体験講座

夏休み期間中の8月19日（火）・20日（水）の2日間、博物館の仕事に興味がある小・中・高校生を対象に、普段学校ではできない職場体験を歴史資料館の仕事を通して経験する講座を実施しました。

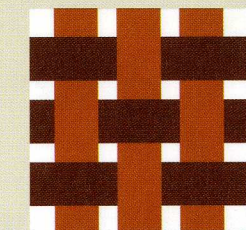
参加者	活動内容
小学生（16名）	館内清掃・弥生土器接合・縄文土器拓本体験・勾玉作り体験
中・高校生（4名）	館内清掃・弥生土器接合・古文書のイロハ隠れ文書探し・勾玉作り体験



つながったよ！土器接合

表紙について

細かな植物繊維で丁寧に編みこまれた縄文時代早期の日本最古のカゴ。カゴの中には姫島産の黒曜石がおさめられ、姫島から横尾まで舟で運ばれた当時の交易のようすを物語っています。黒曜石はガラス質の石材で、切れ口が鋭利であることから石鎌（やじり）などに使用されていました。



カゴの編み方（網代編）



表紙の写真